

産地生産基盤パワーアップ事業
都道府県事業実施状況報告書兼評価報告書

R3年度評価結果

都道府県名 兵庫県

I 産地パワーアップ計画（収益性向上タイプ）

1 成果目標

(1) 生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減

| 地域協議会名 | 整理番号 | 地区名 | 対象作物 | 取組内容 | 成果目標 | 現状 | | | 目標 | | | 実績 | | | 達成率 (%) | 地域協議会等の評価 | 都道府県の評価 |
|--------------|------|--------|----------|--------------------------------|----------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|-------|---|---|---------|-----------|---------|
| | | | | | | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | | | |
| 佐用町地域農業再生協議会 | 11 | 東徳久・林崎 | 水稲 | 効率的かつ省力化に向けた機械の導入 | 生産コストの10%以上の削減 | 29 | 86,414円/10a | 32 | 77,426円/10a | 2 | 90,944円/10a | -50.4 | 機械導入により減価償却費等のコストが高止まりのため、目標がクリアできなかった。今後は、計画的な機械導入、また、更なるコスト削減に努める必要がある。 | 事業実施後の複数機械の導入により減価償却費が増加し、成果目標未達となった。 | | | |
| たつの市農業再生協議会 | 1 | 笹野馬立 | ばれいしよ、小麦 | 対象作物の作付面積の拡大、多収品種の導入による作業効率の向上 | 生産コストの10%以上の削減 | 29 | 175,595円/10a | 32 | 155,679円/10a | 2 | 163,772円/10a | 59.4 | 小麦だけでいえば目標達成となるが、天候不順でばれいしよの収穫に影響を及ぼしたためコストが増加してしまった。次年度以降の数値改善に向けた努力を継続されたい。 | 天候不順(長雨)によるばれいしよの収穫作業及び選別作業時間の延長が影響し、小麦とあわせても全体のコスト低減につながらず、成果目標未達となった。 | | | |

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

| 地域協議会名 | 整理番号 | 地区名 | 対象作物 | 取組内容 | 成果目標 | 現状 | | | 目標 | | | 実績 | | | 補正係数 | 価格補正後の実績 | 達成率 (%) | 地域協議会等の評価 | 都道府県の評価 | |
|--------------|------|-------|------------------|---|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|--------|---|---|--|--|---|-----------|--|---|
| | | | | | | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 事業実施前年度 | 目標年度 | | | | | | 実績年度 |
| 豊岡市地域農業再生協議会 | 2 | 出石町 | そば | 高性能コンバインの導入による単収向上 | 販売額の10%以上の増加 | 29 | 13,145円/10a | 32 | 14,460円/10a | 2 | 34,808円/10a | 1647.3 | | | | 刈取ロスはあるが、天候等の影響を受けにくい品種に切り替え、目標達成となっている。 | 倒伏しにくい品種への転換による作業の効率化・収量増により、成果目標を達成した。 | | | |
| 養父市農業再生協議会 | 6 | 養父市東部 | 施設野菜 | 生産技術高度化施設での葉物野菜の周年栽培 | 販売額の10%以上の増加 | 27 | 2,472千円/10a | 32 | 10,872千円/10a | 2 | 7,505千円/10a | 8.388 | 青ネギ 800 水菜376 レタス233 トマト377 ホウレンソウ583 | 青ネギ 527 水菜289 レタス184 トマト187 ホウレンソウ574 | 青ネギ1,518 水菜1,301 レタス1,286 トマト1,204 ホウレンソウ1,016 | 1.902 | 337,124 | 70.6 | 別紙1のとおり | コロナ禍での販売単価の低下及び新規販路開拓が困難になったことや前年の病害を踏まえた最適な栽培密度の検討途中であり、成果目標未達となった。 |
| 姫路市地域農業再生協議会 | 29-2 | 兵庫西 | タマネギ | 販売額向上に資する機械設備の導入 | 販売額の10%以上の増加 | 29 | 380,214円/10a | 32 | 427,732円/10a | 2 | 177,247円/10a | 114.29 | 円/10a | 60.1 | 円/10a | 1.902 | 337,124 | -90.68 | 当該産地は、経営の新たな柱の一つとすることを旨とし、タマネギ栽培に取り替えている。令和2年度は、天候が不順で、計画(見込み)を大きく上回るロス(廃棄)率及び仕向け先の変更が生じたことで低い販売単価にとどまり目標を達成できなかった。今後は病害の発生等を抑えるため、病害株の早期発見・抜き取りや過期防除等を徹底する。また、品質の向上に向けた取組により、加工仕向けではなく青果での販売、さらに販売単価が最も高い直売所、次にスーパーの販路確保を目指す。 | 天候不順による不作、取引単価の低下により目標未達成となった。 |
| 淡路市農業再生協議会 | 4 | 東浦北淡 | トマト | 低コスト高幹高ハウス(環境制御機器を含む)の整備により環境制御型農業を実証 | 販売額の10%以上の増加 | 27 | 10,783千円/10a | 32 | 13,020千円/10a | R2 | 8,301千円/10a | 626 | 円/kg | 571 | 円/kg | 1.096 | 9,097千円/10a | -75 | 昨今のトマトの価格低下を踏まえ、高い単価を見込めるイチゴを導入し規模拡大を図れた。一方で、コロナ禍でトマトとイチゴのいずれも販売単価が伸びず、成果目標(面積あたり販売額)は目標を下回った。今後は、契約取引等有利販売により販売単価の向上を目指す必要がある。 | 令和2年度は、新型コロナウイルス等によるトマトの単価下落の影響を受け、産地のハウスの一部を緊急的にイチゴ栽培に切り替えたが、来年度以降は市場の状況を考慮して、トマトの栽培に戻すこととし、産地パワーアップ計画の取組面積の目標を達成するよう指導した。 |
| 淡路市農業再生協議会 | 5 | 生田大坪 | はくさい、キャベツ、ブロッコリー | 機械の整備により、産地としての野菜販売額の10%以上の増加を実現する。 | 販売額の10%以上の増加 | 27 | 96,094円/10a | 32 | 383,688円/10a | R2 | 250,650円/10a | 484 | 円/kg | 274 | 円/kg | 1.766 | 442,648円/10a | 120.5 | 人手不足により作付面積は拡大が遅れているが、単価の高いブロッコリーの生産を拡大することで、成果目標を達成した。 | 安定した単価でブロッコリーを生産することで、成果目標を達成した。 |
| 淡路市農業再生協議会 | 8 | 生田大坪 | 水稲 | 農機具を導入し、効率的な生産体制を築き、水稲の生産拡大、個人・飲食店への販路拡大を行うことで販売額向上を図る。 | 販売額の10%以上の増加 | 27 | 77,670円/10a | 32 | 85,831円/10a | R2 | 81,325円/10a | 6,742 | 円 | 6,380 | 円 | 1.057 | 85,959円/10a | 101.6 | 育苗対策の不備等の要因に人手不足の解消と技術の継承が必要。人材確保及び後継者育成のための指導を行うよう指導した。 | 規模拡大とともに販売単価の向上に努め、成果目標を達成した。 |

| | | | |
|---------------|-----|------|---|
| 都道府県平均達成率 (%) | 54% | 総合所見 | 成果目標達成率が90%未満の計画がある地域協議会については、指導を行うとともに、成果目標の達成率が90%以上になるまでの間改善状況の報告を求める。 |
|---------------|-----|------|---|